福岡市議会議員〈南区〉

近藤さとみ

いきいき便り Vol.26 2021 AUTUMN

＼イキイキ／豊かな「まちづくり」

発行者：福岡市議会議員　近藤里美　〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1　福岡市庁舎議会棟 福岡市民クラブ議員控室
TEL：092-711-4736　FAX：092-732-4055　E-mail：satomi-kondo@fukuokashimin.jp　URL　http://kondo-satomi.jp

「食のまち福岡」だからこそ、食品ロスの削減に積極的に取り組もう！

～令和3年度　第4回定例会（9月議会）・決算特別委員会　質疑に立つ～

令和3年度第4回定例会9月3日（金）～10月8日（金）が開催され、一般会計補正予算や条例の改正、令和2年度決算に関する議案など全48議案について審議しました。近藤さとみは、福岡市民クラブを代表して決算特別委員会の総会質疑に立ちましたので、ご報告いたします。

○福岡市の「食品ロス」削減、現状は？

2015年の国連採択を契機に、食品ロスの削減は世界的な潮流となっており、**食品ロス量を2030年度までに2000年度比の50%削減をめざす**取り組みが本格化しつつあります。福岡市の昨年度の食品ロス量は、事業系が約8,000t、家庭系が約13,000tとなっており、ここから2割以上の削減が必要な状況です。

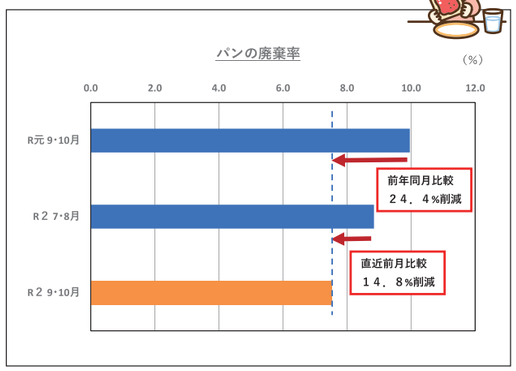
家庭系ロスの削減策として、食品小売店へのポスター掲示等により買いすぎ注意を促すとともに、市が実施した「フードドライブ」イベントをきっかけに、家庭に眠る食品をフードバンクに提供する取り組みが加速しつつあります。駐車場のある小売店舗を中心に、回収拠点が増えることによって、活動に協力する市民も増えることから、福岡市が拠点となる事業者の紹介や告知等に取り組むよう求めました。

○食に関わる事業者が取り組みやすい「食品ロス」対策

福岡市は昨年、食品販売事業者へのロス対策として、作りすぎや過剰発注を防ぐため、日本気象協会実施の**気象予測に基づいた需要予測サービス「売りドキ！予報」の実証実験**を行ないました。参加店舗では廃棄ロスが削減され（グラフ参照）、同時に、機会ロスの削減についても成果が実感されました。今年度は、システムの改良に取り組んでおり、利用後の効果などの**アンケートに協力する市内小売店舗は無償利用が可能**とのこと。より多くの小売店舗、特に天候や気温に左右されやすい商材を多く取り扱っている事業者に大いに活用いただき、廃棄ロスも、機会ロスも削減につなげていただくよう、求めました。

「売りドキ！予報」の活用などにより、事業者自身が精度を高める工夫も必要ですが、消費者の動向に大きく左右されるのが実態です。一部地域では、値引き商品の購入を**エコでスマートな社会貢献・フードレスキュー**として取り組みが始まっています。「食のまち福岡」を標榜する福岡市が、事業者単位の取り組みに終わらせず、市内全域の共通の取り組みとして食品ロス削減に向けた機運醸成につながるような対策を強く要望しました。

グラフ：【売りドキ！予報の実験結果】



常任委員会より　コロナ感染対策、第5波を振り返る

福岡市では、7月頃から陽性者数が急増し、8月18日には625人の陽性者が確認され過去最多となりました。第5波が襲来した中、福岡市におけるコロナ対応状況がどのように進められたのか、福祉都市委員会において確認しましたので、ご報告いたします。

1. 検査体制の強化

①検査センターの開設時間延長等による検体採取能力の拡充（350件/日⇒700件/日）
②濃厚接触者等に対する検査分析の一部を民間検査機関へ委託
③医療や介護従事者への検査回数の拡充（月1回⇒週1回：緊急事態宣言の期間中）

2. 医療体制の確保

①入院病床：1,475床（うち、重症病床203床）
②宿泊療養：10か所（2,106室）
内、福岡市内6カ所（1,427室）
③自宅療養：3,841人（9/6時点）
パルスオキシメーターの追加購入
オンライン等による診療開始（8/11より）

3. 新型コロナウイルス感染症対策予算の確保

一般会計の予備費から９億円弱を補充
・検査や保健所体制等の強化
・軽症患者の搬送と自宅療養者のフォロー
・入院医療費の公費負担分の措置
・陽性者の入院治療や介護を行なった施設への特別給付金　等

4. ワクチン接種体制の充実

①ワクチン接種会場の拡充
KITTE博多（10/1～10/28）
②ワクチンの供給量の確保
福岡市の対象者の8割が2回接種できる量を10月上旬までに順次供給
③市内の接種状況をホームページに随時掲載

声をカタチに！　「空き家の有効活用」に向け、市が計画策定へ！

地域の皆さまから、「増えつつある空き家問題の解決と合わせて、地域活動や福祉など、うまく活用できないか」という声をいただいたことをきっかけに、昨年6月議会の一般質問で「空き家の利活用」について取り上げました。これを受け、今年度「福岡市空家等対策計画」が策定されることとなりました。

空き家数は、長期的に見ると全体的に増加傾向にあり、特に**不動産市場に流通せず、長期間放置されると管理不全な空家等につながる恐れのある「その他の住宅」**が一戸建ての空き家に**占める割合は73.4%**と非常に高くなっています。

こうした現状を踏まえ、良質な住宅・住環境の形成に向け、本計画では3つの柱となる基本方針ごとに、所有者に対する相談体制の充実や、既存住宅のリフォームによる活性化、空き家の多様な活用方策の検討と実施など、課題に即した対策を講じることとしており、本年10月のパブリックコメントの募集を経て、12月頃に最終策定・公表される予定となっています。

基本方針3つの柱

1. 空家等の適切な管理の促進
2. 空家等及び跡地の活用促進
3. 放置空家に対する対策の推進

南区情報　期日前投票所が増えました！

従来：南区役所2F大会議室
→ NEW 福岡市立福翔高校

仕事や余暇の過ごし方などの様々なニーズから、選挙時に開設される期日前投票所の増設を望む声が多くあがっていました。南区では、第49回衆議院議員選挙からようやく増設されることが決定。開設場所が高校であるため土日限定ではありますが、より多くの方にご利用いただき、次回以降の選挙における期日前投票所の拡大につながることを期待したいと思います。

ご案内　晩秋の市政報告&懇話会を開催します！

9月議会についてご報告し、皆さまからご意見等をお伺いする会です。所要時間は1時間の予定。
マスク着用にてお越しくださいませ！

12月5日(日)10:00～「塩原公民館」1F講堂
12月12日(日)10:00～「三宅公民館」1F講堂